

「ぼ～れば～れ」通巻 435 号所載

玉ねぎの皮むき

三郷の小さなつどい 2016 年 8 月 20 日（土）13：30～

みさと健和病院 参加者 21 名

クリニックふれあい早稲田の大場先生、みさと健和団地診療所の宮本先生、みさと協立病院の矢花先生が参加されました。アカシア会の高杉さんから、入居者を対象にした調査で、食事の準備から後片付けまで、介護度が高くても出来る人がいることが分かったと話されました。

Yさんから、母はディサービスには手伝いと思っていて、やらせてもらっているが、家ではつい待ってられなくて私かやってしまうと発言がありました。

Uさんは、玉ねぎの皮むきを頼んだら、全部むいてしまった。五徳の熱いのを手で持ったりするので、台所に入れないようにしている。

Nさんは、夫は声が出せなくていらいらするため、私に暴力を振るうので病院に入っているが、家に連れて帰ったほうがよいか悩んでいると言われ、大場先生からは、もう少し様子を見てから、受け入れの条件があるか判断してはどうかとアドバイスがありました。

Mさんは、母と一緒にカレーを作ったりしているが、それは違うと言ったら大変だ。ディサービスではお手伝いをしているようだけど。

Kさんは、一人暮らしの姉が夜中でも電話かけてくるので、困っていたが、ようやくディケアセンターに行くようになってほっとしているそうです。それでも時々電話してきて、通帳と印鑑を持ってきてというので困るが、ケアマネさんからは、しばらく様子を見ているようにと言われている。